

1984年11月号

1984年11月5日発行（毎月1回5日発行）

No. 98

あんふあんて

発行人/ 発行所/あんふあんて出版部
定価/200円 振替口座/ あんふあんての会 電話/

生きられなかった人生

ぐるぐる ぐるぐる
走って 走って
やつとやつと
小さな穴の向うに
青い空が見えた
何かにドーンと
つきとばされて
又 トンネルに逆戻り

もう一度
ぐんぐん ぐんぐん
走って 走って
ほんのちよつぱり
遠くに空が
と思つたら

又々 何かに
つきとばされて
やつぱり僕は
闇の中

見たかった
青い空
抱かれたかった
母さんの腕の中
生きたかった
僕の人生

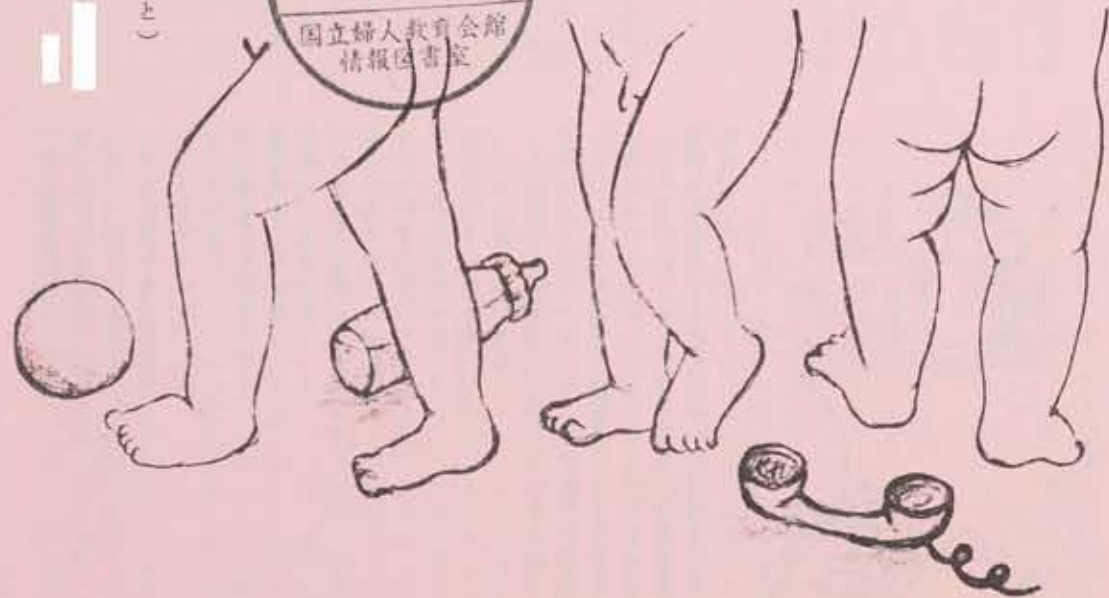
逐次刊行物

昭 59.11.17 和

国立婦人教育会館
情報図書室

（水子のひとりごと）

詩 松浦
イラスト 片谷



新会員訪問 シリーズ



今回は、府中市の
さんを訪ねま
した。御主人の転勤で仙台から府中にこれ
十月に入会したばかりの。さんは、フラワ
ーデザイナーとして毎月一回甲府で押し花絵
の教室をしたり、九月には個展も開かれたと
いうキャリアウーマンです。仕事のことを中
心にお話をうかがいました。

家族構成は

夫（四十才）私（三十六才）娘（九ヶ月）
まだこちらに来て日も浅く、ひとりで子育
てをしていると不安があるので、ちょっとし
たことも話し合ったり、相談できる友だち
がいたらよいと思い入会しました。

結婚が仕事か迷ったそうですが

出産年令を考えると三十四才がタイムリミ
ットだと思ひ、結婚にふみきました。
☆どうして仕事を続けたかったのですか
環境とかあったと思います。ちょうど学生
時代が大学紛争の時でした。大学で社会科の
教員免許をとったものの、あふれていて就職
できない。就職難で大学女子なんて思うよう
に働けなかつたのです。そこで、好きなこと
をもう一度やり直したいと思い、大学へ入り
直して美術を専攻しました。適令期で、結婚

する人もいましたが、私は結婚ではあきらめ
がつかないかつたのです。好きなことを捜しな
がらやっていたころと思ひ、二足のわらじをは
いて、美術科の学費をかせぐために勉強しな
がら働きました。

☆結婚後二年たつて計画出産したのは

仕事にも見通しがついたので生むことにし
たのです。しかし高齢出産は異常児が生まれ
るかもしれないとか、自然分娩では心臓に負
担がかかるかととても不安でした。職業病で
押し花の薬品中毒性のもので血小板が下がっ
た病気のこともあり、出産の時には十人分の
輸血の用意もして出産に臨みました。いつ出
血するかもしれないということ、産婦人科
と外科の揃った病院で出産したのでした。

☆そして、生まれてからが体力的にとても大

変でした。私は帝王切開だったので二週間も
入院しましたが、その間ベビーシッターさん
を頼むために、前もって予算をとっておいた
りもしました。

☆さんにとって仕事とは

精神的なほうだと思ひます。私は、創造的
な仕事の方が好きなのでこの道を選びました。
管理されるのが大嫌いなのです。好きなこと
ができるのが一番だと思ひ、結婚と仕事が
両立していく人生がよいですね。

☆お子さんにも何か一つ自分のものを捜して
生きていってほしいそうですが
自分を生かせるものがあつたら楽しいこと
だと思ひます。できれば、私のあとを継い
でもらいたい。女の子だから、結婚して子供
を生むのが幸せだと思ひますが、全て経験
させてあげたいですね。

☆子育てをとても遠慮しているようですが
八ヶ月まで、仕事はしませんでした。これ
から少しづつ仕事を増やすつもりです。長い
目でみると、小学校高学年で親離れするとい
うことで、育児に関しては楽観的に、その時
その時対処すればよいと思ひています。必要
な時期にはしっかりとついていける。友だ
ちみたいにできればいいんじゃない。

岡田さんの話を聞いて、長い間お仕事を続
けてこられた人にとって、仕事は主で子供は
従なのかも考えましたが、よく聞いてみる
と乳児期はしっかりとついていたようだし、
仕事の方も一時的に休んだり、ペースダウン
したりできるため、両立が可能なのですね。
会社勤めでは、途中都合で休んだり始めたり
は、絶対無理。その点、ある時期は減速した
り、家で教えたたりする仕事は、とても魅力的
で、自分、子供を持ったことにより、価値感も
だいぶ変わってきました。独身時代は華やか
な仕事にあこがれ、外資系企業の秘書などや
りましたが、今度仕事をやるのだったら、人
になにか教えるとか、人と接するの多い仕事な
ど、やりがいがありそうです。

私も三十路を出発点にしてなにかずつと続
けられるものを始めようかなあ。

○さんがクリスマスの押し花絵の講習会
を多摩川グループで開いて下さるそうです。
楽しみです。

○三十六才で二人目を産もうか迷っているそ
うです。高齢出産で成功した例がありまし
たら教えて下さい。
（馬場）

出産アンケート

グループへの

おたよりから

妊娠中の水泳について

町田市

私の場合、二人目の妊娠とわかつた時、今
回は是非ラマーズ法とやらで産んでみよう、
またラマーズ法に良いと言われる水泳をやっ
てみようと考えました。ちょうど六月に市の
広報で婦人水泳教室が無料で開催されるとい
う事を知り、即、応募しました。その時、係
の方の話では「ほとんどの方は、妊娠と知つ
た時点で水泳教室をやめていかれますが、参
加なさりたいのなら医師の承諾を得て診断書
を出してもらえばかまいません。でも、プー
ル内での事故には一切、責任は負えません。」
とのことでした。私は絶対に良い子を産むん
だという決意で参加しました。その時おなか
の子は七ヶ月になっていました。

妊娠が水泳をやる時期はいつがよいかとい
うと「マタニティ・スイミングとベビー・ス
イミング入門」（主婦と生活社・千三百円）
という本によれば安定期に入った五ヶ月目か
ら産み月まで、母体に異常がなければ大丈夫
だそうです。私は八月中はほとんど毎日、自
転車で片道二十分かけプールへ通いました。
最初プールへ入った時はお腹が固くはりまし
たが、二日、三日と続けていくうちに、おな
かの子も慣れていったようです。帰宅して疲

れた時は少し横になつて休みました。今、九
ヶ月半ばになりませんが、むくみも無く体重も
七キロ増えた位でとても快調です。いまだに
幼稚園の送り迎えも自転車です。いまだに
話は変わりますが、お産のことについて迷つ
ていることがあります。それは五才の娘をお
産に立ち合わせようか、どうしようかという
ことです。まだ幼なすぎでショックを受けて
は、という気もするのです。夫立ち合いのお
産をした方で、上の子のいた方、どうされた
か教えて下さい。（事務局、出産アンケート
係まで）

埼玉県

私は泳ぐのが大好きなので、安定期になる
妊娠五ヶ月になつてすぐにマタニティ・ス
イミングスクールに行つて泳ぎはじめました。
それまでは妊娠中ということもあつて家に
ばかりいて気がめいりがちでしたが、スイミ
ングに行くようになって泳ぐことによつて気
分は爽快、そして何よりも友だちがいっぱい
できてはいいができました。スイミングの
あと、大きなおなかをかかえた者どうして妊
娠中のいろいろな悩みや疑問などしゃべり合
うのが楽しかつたです。

マタニティ・スイミングが安産につながる
かどうかは一人一人のお産が違うのでい
いにくうだとは言えませんが、私の場合は初
産にもかかわらず病院についてわずか三時間
半という大変軽いお産でした。マタニティ・
スイミングで「自分がお産をするのだ」とい
う前向きな姿勢になれたことがよかつたと思
います。

考え直したい育児用品について

印旛郡

○使いにくかつたもの
— 吸い口がストローとか乳首などに変えら
れるコップ —
部品がたくさんありすぎ、洗うのも使うの
もめんどろつた。これの出る以前の、両側
に持ち手があり吸い口も一種だけのシンプル
な形の旧製品の方が使いやす。テレビのコ
マーシャルでずいぶん流れていたもので、つい
買つてしまつたが、価格も旧型に比べぐつと
高かつた。

○使いにくかつたもの
— 鼻水を吸いとるスポイト —
ゴムの先を痛がる。鼻くそが出る時は赤
ちゃん自身がくしゃみで外へ出せるみたい。
○使わずに終わったもの
— ベビースケール —
第一子には使いましたが、二、三子の時は
こまかい体重値を気にせず子供の機嫌を見て
発育状態を判断しました。多さつたな体重増
加は普通のヘルスメーターで充分。
○邪魔になつたもの（害を及ぼすもの）
— ベビーシャンプー、ベビーソープ、哺乳
ビン洗剤など —
すべて合成洗剤から成る用品だと思ふ。昔
からの固型石けんが最良ノ香料が添加されて
おらず純石けん分の多いものを選び、すべて
の汚れ落としに使つた方がいいと思ふ。
（おむつの漂白、殺菌剤も同じ理由で邪魔
です）

新潟市

○使いにくかつたもの
— 鼻水を吸いとるスポイト —
ゴムの先を痛がる。鼻くそが出る時は赤
ちゃん自身がくしゃみで外へ出せるみたい。
○使わずに終わったもの
— ベビースケール —
第一子には使いましたが、二、三子の時は
こまかい体重値を気にせず子供の機嫌を見て
発育状態を判断しました。多さつたな体重増
加は普通のヘルスメーターで充分。
○邪魔になつたもの（害を及ぼすもの）
— ベビーシャンプー、ベビーソープ、哺乳
ビン洗剤など —
すべて合成洗剤から成る用品だと思ふ。昔
からの固型石けんが最良ノ香料が添加されて
おらず純石けん分の多いものを選び、すべて
の汚れ落としに使つた方がいいと思ふ。
（おむつの漂白、殺菌剤も同じ理由で邪魔
です）

あんふあんてから

あんふあんてへ



連帯を持った子育てを

仙台市

昨年、千葉県松戸より仙台に越して参りましたが、自然に恵まれた田園の広がる町には満足したものの、人間関係がとて閉鎖的で連帯を持った子育てなど望めない状態です。そこで、仙台の中心部まで出かけ（バスで約一時間）、小さなグループで子育てしながら学び合う会に入会しました。何故、わざわざ出かけるのか、求めなければそんな関係が持てないのか悲しくなります。以前から気にかけていたあんふあんてに入会し、いろいろ考えてみたいと思います。

仕事を辞めて

八王子市

二年半前からあんふあんての会員です。今年の三月まではフルタイムで仕事をしておりましたが、やたら雑事に追われていたため、あんふあんてにはイベントに時おり参加するほかは情報誌を読むだけの会員でした。

退職して、多摩センター近くに転居、今は何とか一息ついたところです。

専業主婦の立場にある女性達、特にあんふあんてにしている女性には仕事に対するあせりがあるように強く感じられますが、私は仕事を続けていく間、常に疑問を持っていました。九時から五時までの拘束時間、通勤ラッシュ、働くことはイコール賃労働ではない実状、私が勤めていたのは良心的な理工書専門の出版社でしたが、業界にあふれる本の山、そしてやがて返品され断裁されるのを見てみると、何と資源と労力の無駄使いかと痛感せざるを得ませんでした。現代は全て無駄なこと成り立っているようなものだと誰かが言っていたようですが、まさにそのとおりではないかと思えます。

今、子供は四才も間近か。仕事を辞めた時には、当面はリラクセスして本来の自分を取り戻すこと、日常生活をもっと見直して、豊かな生き方を探ることを課題に考えていました。が、いざ家庭に入ってみると、毎日を豊かにすることの具体性がなかなかつかめません。子供のことにイライラしたり、変化のない生活にうんざりしたり、言っていることとやっていることはいつも一致しないのです。

続・自分なりの自立の道

九月号に載った私の手紙を読んだ時、私はつきり採用とばかり思っていた会社から断りの電話が来て、二三日肉休も精神もすっきりと底の状態でした。でもこの手紙を改めて読んでみて涙が出てしまいました。そして頭張らなくちやと力をふりしぼって仕事探しに出かけ、その日のうちに決めてしまいました。今、最高に頑張っています。そこは自宅から二駅先の所にある納豆屋さんで、八時五時、日曜だけ休み、日給四千円、諸手当八千円、保険加入の費用、冬場は忙しくなる為七時頃までの残業もあるそうです。断られた会社の条件は、事務職（伝票などの）、八時半五時、日祝休み（他に月一回の休みが女子だけに付く）、自宅のある駅からバスで二十分程、手当込みの月給で十三万ちょっと。あまりの待遇の差にガクゼンとしますが、私は商業高校でなかった為珠算等小学生並ですし、字も美しくないので面接の時には一応採用という感じできちんと条件まで書いて渡してくれた訳ですが、私より経験のある方が来ればそちらを取るのあたり前です。自分を高く売る為にはそれなりのものを身につけなくてはね。それが嫌だった出来た時にはそれなりの生活の仕方をすればいい訳です。今度の職場はなんと六十過ぎのおばあさん方がたくさんバリバリと働いていて頭が下がりました。いかに自分が易い所でノホホンとしていたか痛感しました。そしてお金の大切さもしみじみと。あたり前のことばかりで

落ちこぼれ星と何か始めてみませんか

大宮市

四年程前には念願だった貿易関係の仕事に就き、スキー部・テニス部に入り、旅行もし、ガールスカウトのリーダーをし、多くの友人や子供に囲まれ、独身時代を有意義に過ごしていました。その後ライフワークを求めべく退社し、飛び込んでくるチャンスに身を任せ、ニッポデザインスタッフ、カレンダー撮影のスタッフ、落ちこぼれと言われる生徒の家庭教師等いろいろな事を経験し、その中から「一生子供と関っていききたい」「遊びながら学べる幼児の英会話教室を開きたい」と思うようになったのです。

そして、今結婚二年七ヶ月、育児一年半、妊娠七ヶ月、転動して一年五ヶ月。主人の「主婦は外に出るな」の言葉に従ってすべての仕事・稽古事を辞め、2DKのアパートで夫を待つ事だけに楽しみを見出そうとした。結果、仕事柄毎夜遅くなる夫にヒステリックになり、それでも実家が近かった事、友人がよく訪れてくれた事で私の精神状態は揺れながらも何とか正常を保っていました。

しかし出産と同時に転動が決まり、電話をかける相手も無ければ訪れる友達も無い、子供も二ヶ月にもならず外にも出られないという状態に、夫を相手に錯乱状態になったり、あまりの緊張感に倒れて救急車で病院に運ばれた事もありました。友達に欲しい、何かをやりたいたいと色々な所に問い合わせたのですが、ほとんどが乳児連れはお断りでした。気がつくといく人々が怖くなっていました。通りすがりの人には気軽に話せるのに近所づ

すがそれがすっかり抜け落ちていた私の十年近い結婚生活でした。そんな気持ちで子供を育てていたかと思うと本当に申し訳なくて冷汗が出る思いでした。そんな中でやってきた社会運動なんてやっていたらただ害があった様にさえ思え反省しました。でもすべて反省してゼロにするかということじゃないんです。私が今まで想い行なってきた全てのこととは決して無駄なことではなかったと思います。例えばまだ鍛えていない鉄みたいなもの。私は誰からのものでもない自分自身の糧で私のまだ柔か過ぎる心を鍛え直したい、そうであればいいかなと思っている日々なのです。近いうち家を出ることになると思っています。子供は絶対手離さないという夫にしたがって子供は置いてゆきますが、子供の学校に近い所にアパートを借りていつでも手助けの出来る状態で見守ってゆくつもりです。子供はあと三年で中学生、いよいよ自立へ向けて歩きだす年頃です。いつか子別れをしなければならぬことを胸にくさびの様に打ち込んで私を見つめるために。手取り十萬を切る給料で本当にやってゆけるのか不安が無いという訳ではありませんが、それが最良の方法に思われます。

遥かな夢。たった四万円を持って絵を描く為に東京に出てきてしまった十九歳の時に、私はまた素裸で出発しようとしています。同じ様に夢を見て。ひとつだけ違うのは、あの頃とくらべて年を取ったということです。そしてそれはいい意味での方が多い。と思えるのです。

きあいに拘りを感じ、救いを求めてやつと見つけた「あんふあんて」の中でさえ息が詰まりそうになるのです。同じ二十代の人がいないからかもしれない、共通の興味を持っていないからかもしれないと考えるのだけれど、ただ拘りになるだけで何も解決しないのです。一寸半になる長女にはできるだけの多くの人と交わらせたいのだけれど、あせるばかりです。心の中に「主婦になりたくない」という言葉が潜んでいて、それは、ただ安閑とした主婦になりたくないと言ふ事なのだけれど、友人達がまだ独身のせい、それとも力み過ぎていのか、何故か主婦の中に溶け込めないのです。既に主婦であり、母である事は間違いない事実なのに……。何か他の媒体があれば交わる気がして、ボランティアの一端に関わろうとしています。私も「くれない族」の一員なのではないか。

この様な不安定な状態の中で恵まれた事は、主人を子育てに引き込む事に成功しつつある事です。夫と二人の子育ての中でも思う事はやはりもつと人と関わりた、雑多な人との交わりの中で子供を育てたいという事です。子供連れだつて外に出たい、ハイキング・テニス・習い事・それに何らかの社会活動にも参加したい。乳幼児を連れては受け入れられない所は少ないけれど、どなたか何かを始めてませんか。文通でも公園のひなたぼっこでも、時には父親達も引き入れて、近くても遠くても私の様な落ちこぼれ星と何か始めて下さる方お便り下さい。

昭島市

始めまして。"あんふあんて"に入つて三ヶ月になります。現在私は昭島市において共同保育を行なつています。息子が四歳になり幼稚園のことが気にかかる時期となりました。幼稚園に入れてしまえば親はある程度らしくなりますが、共同保育にも幼稚園にはない魅力がたくさんあり、積極的に幼稚園のことを考えられなく、ふらふらした状態です。

もし、どなたか幼稚園に入れることなく共同保育で頑張られた方があつたら、アドバイスなどいただけたらと思います。

仙台市

私は仙台に住む二十八才の主婦です。実は私、結婚六年で二度の妊娠中毒症で二度共死産しました。二回とも八、九ヶ月頃でお腹の中で死んでしまうのです。どちらとも男の子でした。体重は二人共1kg未満でした。原因は高血圧（最高は百八十位）、蛋白は急に十三位出るのです。薬ももちろん飲みますがあまり効き目はないようです。死産後は、しばらく蛋白が出て、二、三ヶ月位入院したり通院しました。昔からよく言われる産後の肥立病院で診察してもらったところ、東京に検査をお願いしたが異状なしとの事、原因不明、私みたいな人は珍しいと言われました。どこも悪くないのだから妊娠するなどは言わないが、もしそうした場合五ヶ月頃から入院しないかといふことでした。不安はつきまといいますが、私ももう一度チャレンジしたいと思っていますのです。それで私のような経験を持つ方知人にいる方、参考になる資料、体験談がありましたらお知らせ下さい。一人でいいから丈夫な子供を産みたいと願っています。

金沢市

昨年あたりから「老後」「老人」「ホケ」という言葉を身近なものとして受け止め、かつ考えるようになりました。一九八三年七月十三日付けの朝日新聞で、上坂冬子さんのお母様の記事を読んで、ショックを受けました。交通事故で急逝された上坂さんのお母様が生前つけられた日記、十年分には、面々と若い

私の母の義 私の祖母は息子夫婦と同居
ていますが、嫁との会話もないまま八十を迎
えています。昨年の十二月逆縁で実の娘が亡
くなり、(私の母の姉にあたる人でした。)今
は、嫁の世話になりたくない、なるべく
病氣やケガをせぬよう、あまり出歩かない日
々を送っています。面とむかつて嫁に言いた
い事も言わず、その実身内である私の母や、
その姉妹には嫁の悪口は言いたい放題です。
私はものの道理がわかるようになった今、祖
母の言う悪口だけを以前のようにうのみにで
きなくなりました。

そしてようやく自分の老い、両親の老いを絵空事ではなく身近なものとして考え始めた次第です。両親も私も、今はまだ健康に恵まれています。これから様々な問題にぶつかり対処していかなければなりません。どういう形で、どんな問題が起きてくるのか、まだ予想もつきませんが、素漠とした人間関係にだけはしたくないものだ、と思っています。

「敬老の日」は過ぎてしまいましたが、長命になったぶんだけ、老人問題はますます身近なものとなり、いろいろな点で深刻さも加わってくるように思います。

「あんふあんて」の皆様はどのような形で「老い」や「老人問題」を受け止めておいでですか。いろいろな人の考えや現状も知りたいと思うこの頃でもあります。

調布市

仕事が子育てかの選択ではなく、仕事と子育てと生活とにバランスよく力を注ぐつもりで来たけれど、どうもそう都合良くはいかなくなってきた。私、三十二才。子供二人。長女は二才半から保育園に預け、今四才。二人目を一月に出産したが、その子は四月の時点で生後四ヶ月に満たなかった為認可保育園に入園できず、仕事日にはベビーシッターに預けている。(驚くほどの高額で、)仕事は、言語治療士。現在は地域の福祉センターで、脳卒中後の後遺症である失語症の大人や、発音を誤る構音障害の子供、ことばの遅れを訴えてくる子供たちの、ことばの訓練をしている。仕事からの刺激は大きい。ハンディキャップを抱えている人たちと向き合えば自ら目を向けざるを得ない心の痛みや、彼らを取り巻く社会の矛盾など。帰宅後も頭から離れないことさえある。決してわくわくする様な仕事ではないけれど、私に、「まだまだ考えが狭いよ、甘いよ」と教えてくれる人生の良き教師のような仕事だ。加えて、自活の道を持たぬが故に苦勞した母を思うと、現在たとえ経済の大部分を夫に委ねていても、自活への道だけは閉ざしたくない。そう考えて、何か週二・三日は働いている。しかし、實際は体力ギリギリの状態で青息吐息である。娘も二人目が生まれてからは、クレヨンで黄色いババ・黒い弟・白いママの絵を描いたりして不安定だ。この事態をどうしようか。仕事を止めようか、迷っている。

思えば二年前、東京のこの駅前マンション

に住むようになってからだ。咽喉炎で一ヶ月に数回も熱を出し、しかも仕事で喉を酷使する為か、仕事の翌日は寝込んでしまうという生活が続いている。自分では勝手に「慢性気管支炎もどき」だと診断している。排気ガスも凄いが、それだけではなさそうだ。どうも暮し方に歪みがあるようだ。

駅前の為か、同じマンションには子供が一人もいなかった。子供の友達を探し歩き、かねてから憧れの共同保育を求めて原宿の「おひさま会」、芦花公園の「どろんこ」と参加してもみたが、何といつても遠くて、地域的なつながりを感じられずに断念。「あんふぁんて」を知り、調布、府中の地元でやつと月二回の共同保育をはじめたが、これだけでは働く時間までは保証されないの、娘は保育園に入園させた。

さて、人國させてみて感じたことは、子供にとつて家という基地と保育園という遊びの場とが、完全に分離しているというおかしさである。これでいいのかな？ 親も子供も、各々が、地域でのつながりもない所で別々に昼間の場を持ち、やつと夜の間足りなかつた部分を補う。地域的なつながりがしつかりしている所なら、おそらく無形の安心感が支えてくれたらう。しかし、都会にはそれが無い。子供を預けて働いている母親たちは、ぎりぎりの所にいる。帰れば山のような家事が待っている。夫と二人三脚でやつとこなしているのが実状らしい。だが、残念ながら、我家の夫は仕事人間である。そう決めつけては彼に申しわけないが、モラトリアム気分の抜けない三十代のつもりが、現場の要請を受けて



仕事人間へと変わるうとしてゐる。折に触れて、「どんな生活、人生にしたいか、よく考えようよ」とブレーキをかけてはきたが、その私もいつしか仕事を口実に、育児も、仕事以上に巾広い感覚を教えてくれそうな活動も、後回しにするようになってきた。実際、仕事をしていれば、報酬も社会的評価も得られる。自分が何事かを成し遂げている様な錯覚に陥つてしまふ。おまけに、青年期に受験戦争の渦に巻き込まれた私には、毎日の生活を大切にすること、自分の感覚・本能を信じることを、知識ではない知恵を知ることなどが欠けていたようだ。母は、家事よりも勉強を私を駆り立て、私は家事を教えてもらつたことはなかった。そして何よりも私の中に、家事よりも勉強をの延長線で、「生活よりも仕事で、家事なんて私がやることじゃない」なんていう発想が根強く果喰つていたのだ。実のつまつていない生活が、この二年間の悪循環の根にあつたようだ。

身体は警告してくれたのかもしれない。今の暮し、何か無理があるよつて。子供が二人になつて、後戻りもごまかしもできない。無理なら一時仕事も止めてみよう。どうにかなるさ。転居も考へてゐる。子供にも、家を基地として少しづつ遊びの場を拡げていけるような生活を取り戻してやりたい。地域の中で生活を大切にしながら、育ち合ひしたいな。

就学時健診について考える

今まで情報誌上では「就健は障害児選別のための制度だから拒否する」という健常時の親の発言が中心でしたが、今回は実際に何らかの障害のあるお子さんを入学させた方にお話をうかがいました。

☆

☆

うちの子は発達が全体的に遅れ、入学直前になっても三・四才の体格で言葉も赤ちゃんぽかったため、就健で問題になるだろうと思っていました。障害児を持つ友人が就健拒否して学校や教育委員会とでもめたのを知ったので、私はむしろどうせもめるのなら、こちらから積極的に働きかけ就健も受けた上で、地域の学校への入学を強く希望しようと考えました。就健当日、案の上相談室に呼ばれましたが、私が子どもにとって社会生活が大切だから地域の学校へ入りたいと希望したこと、子供自身が身辺自立できていて普通学級でもやっていると状態だったことから、入学はOKでした。そして、保育園時代からの友だちがみんな行く小規模校へ入学。しかし実際に入学してみると、「給食を食べるのが遅い」とか「遠足に親が付き添ってこい」とか、事あるごとに言われました。けれど、なまじ私が付いていくと子供に依り心がたつし、へたに手助けするとかえって子供が一人でできなくなってしまうと思ひ、あれこれ理由をつけて行きませんでした。すこしゆとりを持って待っていてくれれば、全部自分でできるのですから。ただ、夏のプールだけは、深くてやつと背が立つくらいだった

め、付き添いました。

うちの学校では、子供の身体にあわせて机や椅子・ふみ台などを用意してくれ、受け入れ体制としてはよかったです。が、重度の子の場合はトラブルも多いし、学校によっても対応がずいぶんちがうようです。特殊学級に入っている子は学校の他に機能訓練所に通う必要があったり、養護学校の場合はそこでその子に合った訓練を受けられるかわりに外との接触がないなど。それぞれ問題があるので、どれが一番とはいえないし、親の考え方によっても選ぶ道はちがってくると思います。最近では普通学級への入学を希望するケースが多いようですが、その子を実際に受け入れて面どうを見る担任の先生が、親と学校との板ばさみになることが多く、この問題についても考える必要がありそうです。

(大田区)

さん

娘は重度の知恵遅れのため、養護学校が特殊学級にしか入れないものと思っていたのですが、「未就学を考える会」のすすめで普通学級・特殊学級・養護学校を見学したところ本人が普通学級にとても興味を示しました。それならばと、就健も就学相談も受けず、普通学級入学を希望。教育委員会からしつこく希望変更を迫られましたが、こちらが意志を変えなかったため、三月三十一日、念願の就学通知が届きました。

はじめの一年は学校に慣れるのに精一杯。プールには入れてもらえませんでした。しかし、二年三年とたつうち学校側も慣れてきて理解を示す先生も増え、プールをはじめ色々

な制約が少なくなってきました。今年の新生には四名の障害を持つ子が含まれています。

普通学級で良かった点はクラスの子供たちとの関係。入学から一緒だったためか娘を特別な子とは考えておらず、ぐずぐずしているとか容赦なく連れて行くし、対等にけんかもします。苦手な階段の登り降りも「一人でできなきゃ」と、子供たちが練習させてくれました。この子供たちからの刺激が娘にとっては何よりも貴重なようです。

養護学校も勿論必要だとは思いますが、現在の隔離された形では、子供たちが将来社会の中で生きていくだけの力を養えるか疑問です。障害のある子もいずれば何らかの形で社会に出ていかねばならないし、またそうあるべきだと思わなければ。普通学級と養護学校の垣根をなくせないものでしょうか。

しかし現実には多くの障害を持つ子供たちが本人や親の意志とはかわりなく、行き先を決められています。その意味で、特に重度の障害を持つ子供にとって、就健は「ふりわけ」に他ならないのです。

(大田区)

さん

我が家では、中学進学時に起こりうるものもろのことが、そろそろ気になり始めています。

就健を拒否したからといってすぐに何かが変わるわけでもないし、入学してからの方がもっと問題があるようにも思いますが、就健は学校と関わる第一歩。自分の問題として考えてみたいと思います。

なお、就学時健診を受けるのは義務ではありません。

(まとも・川崎)

情報コーナー

☆みかん狩りに行きましょう

とき・12月2日(日)

場所・小田原駅から熱海海岸又は右名坂行バスで15分の米神(こめかみ)下車、徒歩30分。バギーを押して登れます。

集合・新宿駅、9時頃のロマンスカーに乗る予定。急行利用の人や小田原方面の人とは、小田原駅で待ち合わせ。

申込・指定乗車券利用希望者は11月10日までに、それ以外の人は11月末までに事務局へ。

☆またまた出産アンケートグループより情報提供のお願い

出産後自宅へ戻ってからしばらくは育児も家事も大変だと思いましたが、そんな時あなた

の夫はどうしていましたか。

夫がこうしてくれてよかったです。又は、こうしてほしかったということがあれば教えて下さい。育児や日常生活について、なるべく具体的にお願いします。

☆切は11月末。宛先は、あんふあんて事務局・アンケート係。

(川崎)

☆お願い

早期幼児教育(2歳〜5歳向き)に関する資料・及び教育機関等をご存知の方、お知らせ下さい。また、教材をお持ちの方、お譲り下さい。

☆講演会「子どもの病氣―医者にかかる場合、かからない場合」

かぜを治す薬ってあるのでしょうか？ 副作用はないのでしょうか？

日時・11月10日(土)午後1時半〜4時半まで

場所・狛江市民センターホール

講師・宮田雄祐氏(小児科医)

参加費・500円(託児あり)

主催・子育て勉強会

連絡先・

☆シンポジウム「教育と保育を問う」

第一回・子どもと共に育ち合うこと

日時・11月11日(日)午後2時〜4時

場所・津田塾大学(西武線鷹の台駅下車)

パネラー・毛利子来氏(小児科医)とダグラ

ス・ラミス氏(同大学の先生六名)

入場・無料(カンパあり)、託児あり。

主催・津田塾大学内さくらんぼ共同保育所

問合せ先・

☆当日は大学祭で、保育所メンバーによるも

ぎ店やバザーもあります。

☆男女雇用機会均等法廃案にむけて

女も会社人間になり家庭を犠牲にして働く

ことが男女平等ではありません。はたらくこ

との意味を考えましょう。

三多摩集會

日時・11月23日(金)午後1時から

場所・立川勤労福祉会館

学習会とデモ

日時・11月25日(日)午後1時から

場所・文京区民会館

連絡先・ぶつつぶせ「均等法」三多摩の会



☆映画「寿ドヤ街、生きる」

暗いです、重いです、でも希望が見えます。

ぜひ見に来て下さい。九百円、コピー付き。

日時・11月23日(金)午後1時から

場所・ブリキヤ(田園都市線鷺沼駅下車)

☆2月〜3月の病氣特集」の原稿募集

病院えらびや薬のことから健康法まで、あ

なた自身の意見や体験談を待っています。

(編集仲間も募集中です。よろしく。)

連絡先・

☆麦草農場収穫祭へどうぞ

11月25日(日)午前10時から。問い合わせは、

さんへ

事務局から

○今月号の決算報告、読んでいただけましたか。会費をためちゃってる方、ついウツカリと忘れていた方、思い出して下さい。10月はグループリスト作成のため、いつもの2倍以上の印刷費、送料、おまけに年一度の保険料の支払いをしたので、財布はカラッポ。あなたのお金だけがたよりなのです。もし振込用紙をなくしたりした場合、郵便局の振込用紙に、この会報の表紙にある口座番号と座名を書いて下さい。退会、休会の場合も忘れずに連絡をお願いします。退会費が切れた時に自動的に退会扱いにはしていませんから。

スケジュールメモ

11月18日(日) 12・1月合併編集会議
12月2日(日) みかん狩り
12月14日(金) 12・1月合併号発送

次号は12・1月合併号となり、1月の情報誌はお休みです。編集担当は池袋周辺の会員です。興味のある方、原稿を書いた方はご連絡下さい。連絡先は、

毎月の情報誌の発送、たいてい第一か第二金曜日です。金曜日暇な人、事務局まで手伝いに来て！

スタッフから

○訪問インタビューでいかに本音を聞き出すかは、インタビュアーの腕次第。さて、今月はいかがでしたでしょうか。(馬場)
○詩を書くのって、こんなに大変だとは思いませんでした。(松浦)
○気がついて見たら、周囲はホットな幼稚園シーズン、我が娘もいよいよ。生活のリズムも少し変わるでしょう。(沖山)
○家探し、幼稚園見学。不動産屋にも行き、時にはめげもしたけれど、東へ西へ動き多くの人に会い、良い転機になるかも。(中村)
○今月会員になったばかり。六ヶ月の娘と一緒に、楽しい時間を過ごせました。(遠藤)
○そうかしら？と思っただけ三ヶ月、自問自答、家族会議の末に、三人目を産み育てる事にしました。(片谷)

○明日友人の結婚式に行く。一人旅だから自由席で良いものを、全部指定席を取ってしまった。我ながら心配症だなと思う。(藤原)
○今月のカットはメンバー数名の観作です。新入会員二名の他、お産の話の聞きに来た人も交えにぎやかな編集。帰りには十年前会員だったという人とも出合いました。(川崎)



★入会申込みは切手四百円分同封し、住所・氏名・電話番号・郵便番号を記入。宛名は表紙上段に記載。
★参加費は一ヶ月四百円。なるべく六ヶ月以上まとめて郵便局で。振替口座は表紙上段に。特に未納の方は至急払い込みを！休会、退会も必ず連絡を。
★事務局の電話受付は原則として月々金曜の二、四時です。御協力を。